

神奈川工科大学

INFORMATION

オープンキャンパス

6/12 7/31
SUN SUN

8/21
SUN

11/27
SUN

「KAIT」
神奈川工科大学
受験生
応援サイト



神奈川工科大学では、受験生の個性や多様性を評価するための多彩な選抜を実施している。教育目的に定める人材を育成するために、高校までの学習や課外活動を通じ培ってきた学力の3要素をじっくりと評価。基礎学力（知識・技能）の評価もこれまでどおりに重視する方針だ。

一般入試の「数学」で記述方式を採用

一般入試においては従来から「数学」で記述方式を採用している。機械系・電気系などの数物系の学科では「数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B」、化学・バイオ・栄養系では「数学Ⅰ・Ⅱ・A」、情報系ではこれら二つの範囲から選択、看護学科では「数学Ⅰ・A」を出題範囲としている。

一般入試では前期日程を「A日程」、中期日程を「B日程」として実施し、共通テスト方式では同じく前期日程を「A日程」、中期日程を「B日程」、さらに後期日程として国公立大学の可否発表に対応した「C日程」の各選抜を用意している。また、2023年度入学者選抜では新たに、大学入学共通テスト（5教科7科目）とグループディスカッションにより選抜を行う「共通テスト方式グループディスカッション入試」を出願2/26～3/1、グループディスカッション3/10、結果発表3/16という日程で実施する。

一般入試「A日程」は、三日間連続して実施し各日毎に合格者を選考するので、各日で異なる学科に出願をすることができ、また「系統別志望順位制」を実施している。この出願方式は、志望学科を学部を越えて「系統」という括りに分類、その「系統」の中で一回の出願で第一志望から最大第三志望まで出願可能とし、上位志望学科の選考に漏れた場合に自動的に下位志望学科の選考にかかるという方式である。また、それ以外の一般入試の「B日程」や共通テスト方式の全てで「複数学科併願制」を実施している（入学検定料の増額ナシ）。

学力の3要素をじっくり評価

他大学と併願可能な選抜方式を実施

総合型選抜は、専願の「高大接続方式」、「適性評価方式」、「レクチャー・レポート方式」、「スポーツ実績評価方式」、「専願1科目方式」と、他大学の一般選抜との併願が可能な「併願2科目方式」を実施する。「1科目方式」や「2科目方式」とは、面接に加えて課される適性検査の科目数であり、「数学Ⅰ・Ⅱ・A」「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」の中から、選抜方式と学科の特性により科目を指定する（過去問をホームページに掲載予定）。「併願2科目方式」は年内に延納手続き（入学金の納入）を済ませることにより、授業料等の納入金と書類を翌年の2月中旬まで延納することが可能となっている。

また、「高大接続方式」の評価対象として新たに高校の探求の授業成果を追加する。

なお、英語外部試験については、従来通り「高大接続方式」、「適性評価方式」、「レクチャー・レポート方式」で書類審査に加算して評価を行う。活用できる英語外部試験は、GTEC、TEAPなどで、CEFR換算のB1以上を加算の対象としている。

公募制は昨年度と同内容で実施

「一般公募制」と「専門高校対象公募制」については、昨年度と同内容で実施。また、英語外部試験については総合型選抜方法と同様の基準で、書類審査に加算して評価を行う。

期待する受験生像



経営管理本部
企画入学課 担当部長
黒古 敦

「大学に入ったあとに何を学ばなければならないのか」、その点を明確につかめている学生を求めています。例えば情報系分野では、文系大学と理系大学で学習内容が異なる部分があり、大学入学後にその違いに気づき、悩んでしまう人も少なくありません。神奈川工科大学での学習内容は、オープンキャンパスの学科プログラムなどからその概要をつかんでもらえるはずです。大学で学ぶべきことを知ったうえで受験に挑み、大学の4年間とその後の進路へと確実につなげてほしいと思います。